

複数武道種目授業

実践の紹介

「武道推進モデル校」事業を活用した 複数種目（剣道・空手道）の実践

本校は、渥美半島の付け根に位置する農業地帯にある。地区の特産品である「小島梨」は全国的にも有名である。

「小さな学校の大きな夢」を合言葉に、昭和60年から始めた「連凧揚げ」は、平成9年に世界記録を果たし、ギネスブックに登録された。

令和4年度の全校生徒数は97名で、市内で最も小さな中学校である。令和3年度から愛知県の「令和の日本型学校体育構築支援事業」の指定を受け、地域指導者による剣道と空手道の授業を2年生と3年生で実施している。



校舎全景

愛知県豊橋市立五並中学校
教務主任 高林 英伸



【剣道】 剣道具の名称、剣道具の着け方



【空手道】 礼法を学ぶ



【剣道】 防具を着けて連続技の稽古



【空手道】 2人組で蹴りの稽古

令和4年度 武道授業単元計画

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|-----------------------------|-----------------------------------|------|----------|-----------|----------|---|---|---|---|----|
| 種目 | 空手道 | | | 剣道 | | | | | | |
| 学習の流れ | 導入（あいさつ、伝統的な行動の仕方、健康観察、本時の学習の見通し） | | | | | | | | | |
| | 準備運動 | | | | | | | | | |
| | 基本動作の学習 | 足さばき | 素振り・空間打突 | 防具の名称・着け方 | 基本打突・応じ技 | | | | | |
| | 対人的技能の学習 | | | | | | | | | |
| | 護身術の学習 | | | | | | | | | |
| 整理（整理運動、本時の振り返り、次時の連絡、あいさつ） | | | | | | | | | | |

(1) 多様な武道の指導モデル

本校の保健体育科では例年、2・3年生を対象として武道に取り組んでいる。令和4年度は2年生30名、3年生36名の計66名を対象とし、上に示した単元計画で授業を展開した。

授業は学年ごとに体育館で実施した。空手道、剣道の授業とも地域在住の外部指導者の下、本校の担当教員がサポートにつき、礼法、基本動作、実践的な動作を学んだ。

(2) 指導の工夫

▼効果的に指導するための工夫
・特に剣道の授業では、防具の着脱だけでも時間を要するため、特別時間割を組み、基本的に2

2 授業の様子

▼空手道授業

地域在住の外部指導者1名に指導いただいた。空手道を通して、

時間続きで授業を実施した。

・校区内在住の有段者を外部指導者として活用し、本校教員とのチーム・ティーチングを行った。全体指導は外部指導者が行い、理解に時間のかかる生徒への個別支援を本校教員が行うようにした。

▼生徒の安全を確保するための工夫

・剣道の授業では打突の失敗などによるけが防止のため、長袖・長ズボンを着用した上で指導を行った。
・熱中症を考慮し、実施時期を10月から11月とした。
・新型コロナウイルス感染症対策として、状況に応じて適宜マスクを着用させた。

日本の文化や歴史、特性を学ぶとともに、「礼に始まり礼に終わる」という教えや、相手を尊重して敬

意を表す所作が求められること、授業の初めと終わりには心を込めて相手や体育館に礼を行うことが大切であることを学んだ。その後、礼法や立ち方、正拳突き、手刀、前蹴りや足の運びについて学び、一斉形式による基本形の練習を行った。後半は、2人一組での突きの練習や大きめのコンタクトバッグを使用した打ち込みの練習などを行った。

▼剣道授業

剣道でも「礼に始まり礼に終わる」を基本とし、授業が展開されていた。1時間目は、相手を尊重する伝統的な行動や考え方、礼

3 生徒の意識・感想と変容

以下に生徒に対するアンケートの結果や生徒の感想を紹介する。

▼アンケートの結果から
・足さばきでは、左足が後ろに残ってしまいうことがあり難しかった。

儀作法、道具の名称などの基礎的な内容を学習した。また、作法や所作として立礼や座礼、左座右起、黙想などを学んだ。さらに、「仁・義・礼・智・信」の「五常の教え」については日常生活から実践していくことの重要性を指導いただいた。2時間目から3時間目にかけては、竹刀しんないの持ち方や構え、足さばき、素振りや一本打ちの練習を中心に行った。4時間目からは、防具の名称や着け方を学び、胴・たれ・面・小手を着用して、実際に相手に対して打突を行うや応じ技を学んだ。

たですが、先生が言っていたように下から意識していくことで、両足が前に出るようになりました。
・今までやってきた技がきれいに

山田正臣さん（空手道錬士5段・琉球古武道4段・太極拳2段）
 「武道授業の一環として、五並中学校の2・3年生を対象に空手道の指導をさせていただきました。指導時間に制限があり、空手の全てを伝授することはできません。特に理解してほしかったことが三つありました。それは、『体

育・德育・武育』です。『体育』とは生涯にわたって武道を通じて、健康・安全に生き抜く知識。『德育』とは、人間として道徳心を養うこと。『武育』とは、素直な気持ちで取り組むことです。ほとんどの生徒さんは空手道の経験がない中、必死で習得しようとしてくれました。私自身、生徒から教えられることがとても多く、指

外部指導者の専門性を生かした指導により、相手を尊重する態度の育成が図られたこと、チーム・ティーチングの指導体制によって安全で効果的な指導ができたことが成果として挙げられる。また、受験を控えた3年生にとっては、礼法やマナーについての指導がその後の面接練習での所作に生かされた点は有効であった。これからも多くの武道を学習し

たいか」という問いの肯定的な回答の割合は72・5%と、他の2項目に比べると若干割合が低い。また、否定的な回答の割合が27・6%であり、「痛かった」や「怖かった」という消極的なイメージのままの生徒もいた。限られた時間の中で武道の魅力をいかに伝えていくかが課題である。今後のさらなる充実した実践を目指したい。

4 指導者の感想

▼空手道

・初めて剣道具を着用したときは難しかったですが、授業をしていくうちに慣れてきて、実際にできるようになってきたと思います。来年も（武道授業が）あるので、今回学んだことを生かして頑張りたいです。
 ・剣道の授業では、技の学びだけでなく心構えなども学んだので、普段の生活でも忘れないように、意識して生活していきたいです。

「武道への関心が高まったか」という問いに対しての肯定的な回答の割合は86%、「2種類の武道を学習したことで理解が深まったか」という問いに対する肯定的な回答の割合は86・3%であった。自由記述についても肯定的な意見が多く、生徒たちには意義深い学習となったことが読み取れる。

打突した時などに大切さがわかりました。

5 成果と課題

導時間もあつという間でした。限られた時間でしたが、生徒さんたちには空手道からの学びを、一つでも心に残すことができたと思います。今後もこのような機会を大切にしたいと思えます」

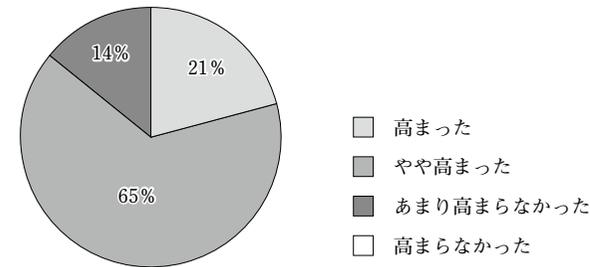
▼剣道

荒木輝彦さん（剣道教士七段）

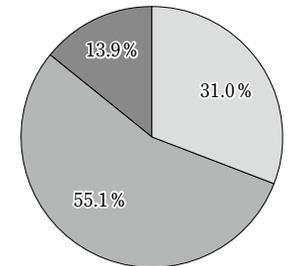
「武道授業で、剣道を学ぶ目的を全て理解して実践することは難しいですが、挨拶や姿勢、整理・整

頓、道具を大切にするなど、できることはずぐ実生活で生かしてもらいたいと思指導しました。剣道が初めての生徒ばかりで興味を持って真剣に取り組んでくれました。授業では剣道具を着けるのに時間がかかりましたが、指示なくとも隣同士で助け合って着けている姿は、学んだ『五常の教え』を実践している姿そのものであると感心しました」

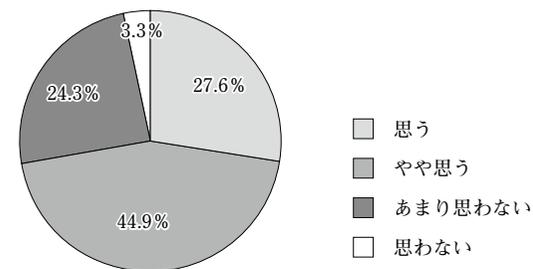
Q. 2種類の武道を学習したことで、武道への関心は高まりましたか。



Q. 2種類の武道を学習したことで、伝統的な考え方や行動の仕方への理解は深まりましたか。



Q. これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。



日本武道館の単行本

剣道の文化誌 明治大学教授 長尾 進 著
 四六判・上製・480項・定価2,640円
 本書では剣道の持つ文化としての多様な面を、時代を追いながら、わかりやすく紹介する。剣道を愛好する方には剣道を改めて見直すきっかけとして、剣道をあまりご存知ない方には剣道という日本文化の成り立ちを知るガイドとして、ぜひ一読を。

マンガ・日本武道風土記 漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著
 B5判・248項・定価1,100円
 全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐってみては。

死ぬまで弓道 弓道教士七段 小牧佳世 著
 四六判・上製・342頁・定価2,640円
 競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ

学校武道の歴史を辿る 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著
 四六判・上製・354項・定価2,640円
 明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

剣道 その歴史と技法 埼玉大学名誉教授 大保木輝雄 著
 四六判・上製・516項・定価2,640円
 本書は戦国末期から江戸時代初期を起点に、今日に至るまでの剣道の歴史の発展の経緯を示した。戦国期以前の剣術の有り様を認識した上で改めて各時代の流れに沿った剣道史を考えてみたいという筆者の思いを実現すべく、連載終了後5年のときを経てついに単行本化。

合気道 その歴史と技法 合気道道主 植芝守央 著
 四六判・上製・362項・定価2,640円
 世界140の国と地域、国内2,400の道場・団体に愛好される合気道。開祖・植芝盛平翁の生涯、植芝吉祥丸二代道主による普及・振興、さらなる発展に繋げた現道主による取り組み。その歴史の中で培われ伝え続けてこられた合気道の理念、それを体現する稽古法、基本的な技法の解説……合気道の全てを網羅した決定版。

空手道 その歴史と技法 小山正辰・和田光二・嘉手苺徹 著
 四六判・上製・548項・定価2,640円
 空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新的事業、小山・和臣の高世孫チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一冊。

ご注文・お問い合わせ
 (公財)日本武道館 月刊「武道」編集部
 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
<https://www.nipponbudokan.or.jp>